



# デカボたっせいクイズラリー in 愛媛

Q01~Q13：知識問題 脱炭素における知識問題

Q14~Q20：アクション問題 脱炭素アクションにまつわる問題

Q21~Q24：愛媛問題 愛媛県にまつわるローカル問題

デカボたっせいクイズラリー in 愛媛

## ルール

- ・2050年の脱炭素社会の実現を目指すゲームです。盤面シートの四隅の好きなところから始めてください。
- ・各自の持ち点100点で、クイズに正解したら持ち点から10点を減らし○の道へ、
- ・不正解なら10点を増やし×の道へ。同着や、途中で終了した場合は持ち点が低い人が勝ちです。なるべく早く脱炭素社会の実現を目指しましょう！

## 知識問題：脱炭素における知識問題

- Q.01 ペットボトルは服にリサイクルできる、○か×か？  
○／×
- Q.02 フードロス（捨てる食べ物）の量は、家庭と飲食店や工場とでどっちの量が多い？  
同じくらい／飲食店や工場
- Q.03 ペットボトルなど使い終わった物（資源）がもう一度新しい製品に生まれ変わることなんていう？  
リサイクル／リユース
- Q.04 日本では水揚げされてもサイズが不揃いであったり、漁獲量が少ないなどの理由から食用にならない魚がいます。その割合は全体の何%？  
およそ20%／およそ10%
- Q.05 2022年度の日本におけるCO2など温室効果ガスの排出量は、最も多かった2013年度から比べてどのくらい減っているでしょう？  
およそ20%減っている／およそ5%減っている
- Q.06 スウェーデン発の「プロギング」は、何とジョギングが組み合わさったスポーツ？  
ゴミ拾い／木を植える
- Q.07 洋服を作る際に生まれる端切れや形の悪い野菜など、本来であれば捨てられるはずのものを工夫して新しい商品にすることをなんていう？  
アップサイクル／グレードアップ
- Q.08 プラスチック歯ブラシは、リサイクルできる、○か×か？  
○／×
- Q.09 LED電球は、同じ明るさの白熱電球と比べて電気代はどのくらいお得？  
7倍くらい／3倍くらい
- Q.10 車の一生（製造から走行、廃棄まで）で考えると、EV（電気自動車）は、ガソリン車に比べて、どのくらいCO2が少ないか？  
20～30%くらい／70～80%くらい
- Q.11 窓ガラスを二重（2枚）にすると、1枚の窓ガラスに比べて断熱（熱を防ぐ）効果はどのくらい高くなる？  
2倍くらい／10倍くらい

## アクション問題：脱炭素アクションにまつわる問題

- Q.12 今日は家族で食べ放題のお店にやってきた！どんなアクションがデカボ？  
食べられる分だけ取る／元を取るためにとにかくたくさん取る
- Q.13 休日のお出かけに飲み物を持っていくとき、デカボアクションとしてより効果が大きいのは？  
マイボトル・水筒・タンブラー／ペットボトル
- Q.14 夜ご飯のおかずが残っちゃった！デカボアクションなのはどっち？  
アレンジして次の日も食べる／捨てる
- Q.15 台所洗剤、詰め替え袋と新しい容器での購入、デカボアクションなのはどっち？  
詰め替え袋／新しい容器
- Q.16 コンビニでおにぎりを買うとき、デカボアクションなのはどっち？  
消費期限が近い商品を取る／消費期限が遠い商品を取る
- Q.17 冷蔵庫に余った野菜の芯や茎を発見！デカボアクションなのはどっち？  
余った野菜を上手に使えるレシピを調べて料理する／捨てる
- Q.18 今日の夜ご飯はお刺身。たこといか、どっちを買うのがデカボ？  
たこ／いか
- Q.19 日本のプラスチックゴミの量が増え続け、このままでは世界で第1位に…!?  
防ぐためには、どちらがデカボ？  
できる限りプラスチック以外の素材でできたものを使う／分別せずにゴミ箱に捨てる
- Q.20 熱中症対策、28℃を目安にというのが、どちらが適切？  
部屋の温度を28℃にする／エアコンのリモコンの温度を28℃にする

## 愛媛問題：愛媛県にまつわるローカル問題

- Q.21 愛媛の特産品である「みかん」を地元で食べるとデカボアクションになる理由とは？  
遠方から運ぶためのエネルギーを削減できるから／新鮮なまま美味しく食べられるから
- Q.22 みかんジュースを作る時に大量廃棄されるみかんの皮。どうすればデカボアクションになる？  
養殖魚のえさとして利用する／そのまま捨てる
- Q.23 今日はサウナに初挑戦！デカボアクションのためにどちらの今治タオルを持っていく？  
水力、風力を利用したエネルギーで織られたタオル／ガスエネルギーで織られたタオル
- Q.24 今治市のタオルを染める会社が開発した着火剤「今治のホコリ」は、キャンプなどで火を起こす際に使うことができます。何からできているのでしょうか？  
タオル乾燥機のフィルターについた綿ごみ／家庭から回収したタオルを細かくしたもの

# デカボ たっせいクイズラリー in 愛媛

## A.01：○

ペットボトルは洋服にリサイクルすることが可能です。実際に、ペットボトルから再生ポリエステル（せいせいせいせい）の繊維（せんい）を作り、その繊維（せんい）を用いて衣類を作ることが行われています。

## A.02：同じくらい

環境省などで発表された2022年度の食品ロス量は、事業系（けい）（工場などから出るもの）、家庭系（けい）の食品ロス量はどちらも236万トンでした。

## A.03：リサイクル

本来ごみとして処理されるものをもう一度資源として生かすことをリサイクルといい、リユースは、一度使用されたものを再度そのままの状態（けん）で使用することをいいます。

## A.04：およそ 20%

水産庁の令和5年度『水産白書』によると、魚介類（かい）の国内生産量は348万トン、そのうち非食用（およ）（食べられなかった魚）は64万トン（18.3%）に及びます。

## A.05：およそ 20%減っている

日本は、2050年までにCO2（はい）の排出量（きゅうしゅう）と吸収量（きゅうしゅう）の差し引きをゼロにすることを目指しています。環境省などの算定によると、吸収量（きゅうしゅう）を差し引いた2022年度のCO2（はい）排出量は10億8,500万トンで、2013年度比で3億2,210万トン（22.9%）の削減（さく）を実現しています。

## A.06：ゴミ拾い

プロギングは、スウェーデン語で「拾う」を意味する「プロッカ（plocka）」と「ジョギング」を組み合わせた造語で、2016年にスウェーデンで生まれたスポーツです。

## A.07：アップサイクル

製品を一度原料などに戻（もど）すリサイクルと異なり、アップサイクルは、原料などに戻（もど）さず、もとの製品を生かしながら新しい製品に生まれ変わらせます。

## A.08：○

ある歯ブラシメーカーは、使用済みハブラシを植木鉢（ぼち）や定規としてリサイクルしています。市役所や公民館、歯医者など、歯ブラシ回収ボックス（しゅう）を置いているところが増えてきているので、見かけたら是非利用してみてください。

## A.09： 7倍くらい

電球には昔ながらのフィラメントを使ったものとLEDを使ったものがあり、60Wと表示されている場合、明るさはほぼ同じでも消費電力は7倍ぐらの差があります。LED電球の方が昔の電球に比べて10倍くらい高いですが、電気代が安いので、1日4時間点灯で計算すると2年以上でお得になります。

## A.10： 20～30%くらい

EV車は走行中にCO2を一切出さない一方で、製造と充電（はい）の際にCO2を排出しており、特にリチウムイオン電池の製造にはかなりの量（はい）を排出しています。それでも、車の一生（10万キロ走行）で考えると、CO2（はい）の排出量が少ないのはEVで、再エネ電力の利用が進むと、さらに削減（さく）されることが期待されています。

## A.11： 2倍くらい

夏は、外から入っている熱（わり）の7割程度は窓から入ってきます。窓ガラスを1枚でなく二重（まい）（2枚）のペアガラスにすると、その断熱効果は、2倍になります。さらに、内側のガラスの表面にLow-Eという特殊な膜（しゅ）を貼ると効果が3倍に、2枚のガラスの間を真空にすると4倍になるとされています。

## A.12：食べきれ的分だけ取る

食べ残し（しよ）を処分する場合、ごみ収集所までの運搬（しゅう）や焼却（はい）でCO2が排出されてしまいます。食べ物はできる限り残さないよう心がけましょう。

## A.13：マイボトル・水筒・タンブラー

マイボトルや水筒、タンブラーは製品の製造・廃棄（はいき）・リサイクルの際にCO2が排出されますが、何度も繰り返し使うことができるため、使い捨てのペットボトルよりもデカボな選択になることが多いです。

## A.14：アレンジして次の日も食べる

食べ残し（しよ）を処分する場合、ごみ収集所までの運搬（しゅう）や焼却（きやく）でCO2が排出されてしまいます。食べ物を残した場合は、アレンジして食べることを心がけましょう。

## A.15：詰め替え袋

普通のパッケージに比べて、詰め替え用の袋の方がパッケージが軽く、石油由来資源（げん）の使用量が少ないため、詰め替え用の袋の方がデカボな選択になることが多いです。

## A.16：消費期限が近い商品を取る

消費期限が近い商品は、消費期限が遠い商品に比べて、食中毒防止等の観点から捨（す）てられる（フードロスになる）確率が高いです。食べ物を捨（す）てるときは、ごみ収集所まで運んだり、その食べ残し（しよ）を燃やして処分するときに、CO2が排出（はい）されてしまいます。

## A.17：余った野菜を上手に使えるレシピを調べて料理する

余った野菜（す）を捨てしまうと、ごみ収集所までの運搬（しゅう）や焼却（きやく）の際にCO2が排出（はい）されてしまいます。フードロスを出さないために、余った野菜も上手に食べましょう。

## A.18：たこ

魚介類（かい）のCO2（はい）排出量は、漁の方法などによって変化します。イカは夜の方が動きが活発になるため、夜に照明を灯しながら漁をすることが多く、その影響（えいきょう）からタコの方がデカボになります。

## A.19：できる限りプラスチック以外の素材でできたものを使う

プラスチックゴミによる海洋汚染（おせん）が深刻化しており、プラスチック製品をできるだけ使わない「脱プラ」はデカボな選択になることが多いです。プラごみを分別（だつ）せずに捨（す）ててしまうと、再資源化（げん）できず焼却（きやく）によるCO2（はい）が排出（はい）されてしまいます。捨てる際は分別を心がけましょう。

## A.20：部屋の温度を28℃にする

エアコンの設定温度を28℃にしても、部屋の日差しの当たり具合や周囲に何をおいているかの環境（かん）で、1つの部屋の中でも温度に差が生じてしまいます。デカボを意識しつつも、熱中症対策のために室温が28℃になるよう気を付けましょう。

## A.21：遠方から運ぶためのエネルギーを削減（げん）できるから

CO2は、その製品の素材を作るとき、運ぶとき、加工するとき、廃棄（はいき）・リサイクルするときにも排出（はい）されます。地産地消は製品を運ぶ距離（きょり）が短くなり、その分CO2（はい）の排出量が少なくなるため、デカボな選択といえます。

## A.22：養殖魚（しよく）のえさとして利用する

余ったみかんの皮を養殖魚（しよく）のエサとして使わなかった場合、みかんの皮を処（しよ）分するためにごみ処理場まで運んで燃やす必要があります。また、新たなエサを作ることも必要になるため、各工程でCO2が発生してしまいます。

## A.23：水力、風力を利用したエネルギーで織られたタオル

糸を紡（つむ）ぐ、タオルを織るといった工場に必要なエネルギーを水力などの再生可能エネルギーで利用することで、化石燃料由来のエネルギーを使うよりも、CO2（はい）の排出量を抑えることができます。今治市のIKEUCHI ORGANIC（株）のタオルは「風で織るタオル」と呼ばれています。

## A.24：タオル乾燥機（かんそう）のフィルターについての綿ごみ

染色後のタオルを乾燥する際に大量の綿ホコリが出てしまいます。しかし、大量の綿ホコリを処（しよ）分する際には、お金がかかるとともにCO2が排出（はい）されてしまいます。（株）西染工の「今治のホコリ」は、そんな綿ホコリを有効活用しようという発想から生まれたデカボなアイテムです。